AIって何スカ?

○どんな年代に、どんな目的でAIは使われているのか

■生成AI利用 ■生成AI未利用 □知らない

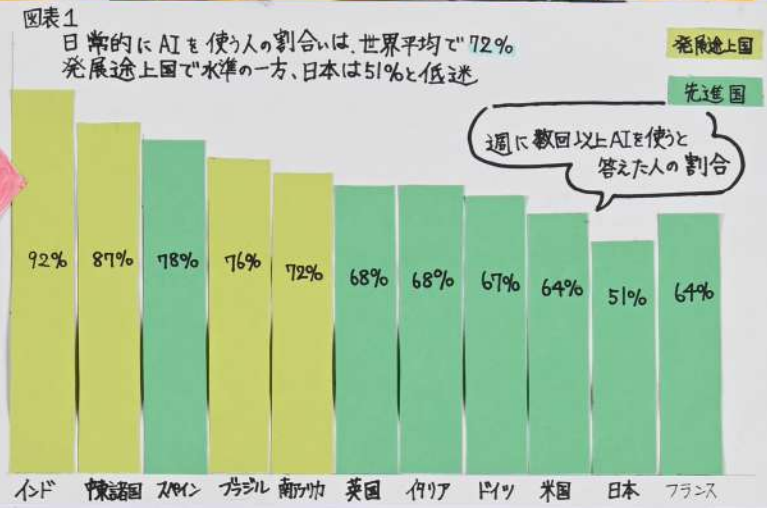
		プライベート			仕事・学業		
全年代	2025年2月	23	24	53	20	27	53
	2026年2月	45	24	29	38	33	29
10~20代	2025年2月	40	25	36	39	25	36
	2026年2月	63	18	14	63	23	14
30~40代	2025年2月	23	23	54	19	27	54
	2026年2月	45	24	31	35	34	31
50~60代	2025年2月	15	25	60	12	27	60
	2026年2月	34	28	38	26	36	38

0% 100% 0% 100%

10~20代の若い世代ではプライベートや学業でも利用している人が半数以上を占めています。

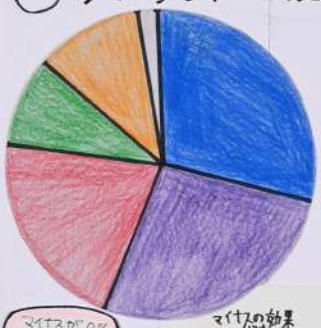
世界みると…

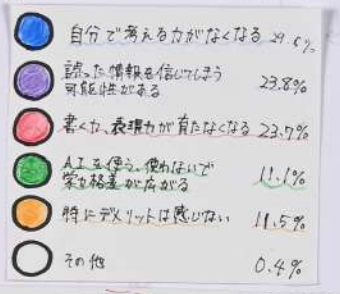
図表1
日常的にAIを使う人の割合は、世界平均で72%
発展途上国で水準の一方、日本は51%と低迷

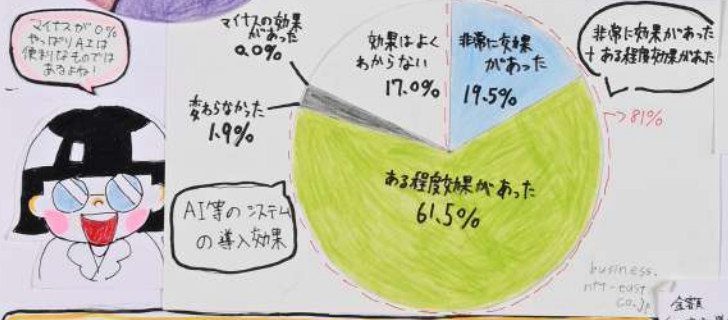


このグラフを見ると、日常的にAIを使っているのが一番多い国はインドで、先進国よりも発展途上国の方が全体的にたくさん使っているのが分かる。

○デメリットと使用してみて

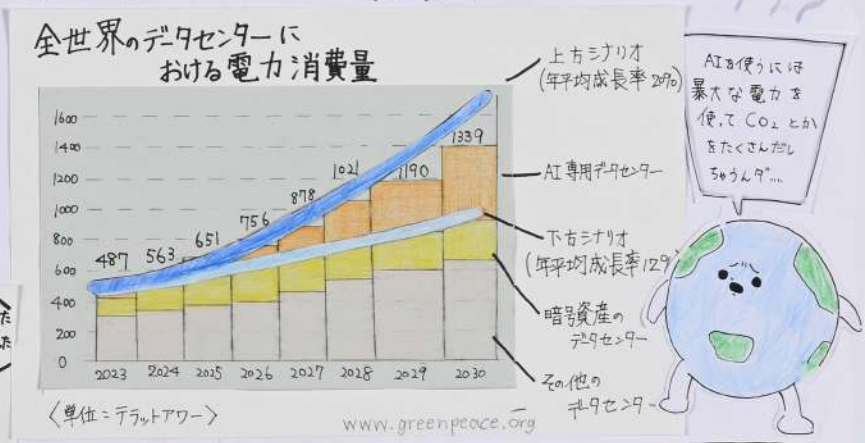






下のグラフを見ると、AIはとても便利だと感じる人が多くいる事が分かる。しかし、上の図を見ると、人間にとってデメリットも多くある事が分かる。

○AIによる環境破壊



年々AIを使用することが増えることで、さまざまなデータセンターから電力が消費される量が上昇することが分かる。



○まとめ

現在、AIの普及はどんどん広がっています。その理由は、人間には難かしい事も、瞬時にやるという事だと思います。それは、人間にとってとても便利だと感じさせます。一方、AIにはデメリットもあります。例えば、グラフにもあるような環境破壊です。AIはとても電力を使いCO2を排出します。そうなると、地球温暖化が進んでしまいます。そして、AIを使うと、考える力が無くなってしまいます。このようなデメリットがあると知って、私達は、AIと正しく向き合う事が大切だなと思いました。